江戸川版

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、市区町の避難指示の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）

さいたま市

江戸川／西関宿地点

・避難情報に関するガイドライン（内閣府：令和3年5月）を参考に作成。また、都道府県からの情報は割愛している。
・ホットラインによる助言の要請はタイムラインに示されたタイミングだけではありません。
※時間経過に応じた対応項目については想定で記載。なお、本市は氾濫発生の約2日後に浸水が想定されますので避難指示等のタイミングは留意ください。

令和4年6月時点

台風接近

-72h
-48h
-24h
-18h※
-4h※
-3h※
0h
氾濫発生

気象・水象情報

◇早期注意情報（警報級の可能性）
※5日先までに予想されているとき、ホームページに発表

◇台風予報
◇台風に関する埼玉県気象情報（随時）
○台風に関する気象庁記者会見
○大雨注意報・洪水注意報発表
◇台風に関する気象庁記者会見
○大雨警報・洪水警報発表

レベル1 水位	水防団待機水位到達 西関宿水位観測所（水位４．５ｍ）
レベル2 水位（注意）	氾濫注意水位到達 西関宿水位観測所（水位６．１ｍ） ◇暴風警報発表
レベル3 水位（警戒）	避難判断水位到達 西関宿水位観測所（水位８．１ｍ） ◇大雨特別警報発表
レベル4 水位（危険）	氾濫危険水位到達 西関宿水位観測所（水位８．９ｍ）
レベル5 水位	堤防天端水位到達 越流

氾濫発生から30～42時間後に到達

気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

江戸川河川事務所

○施設（調節池・水門・排水機場等）の点検・操作確認
○災害対策用資機材・復旧資機材等の確保
○リエゾン体制の確認
○協力機関の体制確認

【注意体制】
○水防警報（待機・準備）

洪水予報（氾濫注意情報）
○出水時点検（巡視）　○水防警報（出勤）
○CCTVによる監視強化
○応援体制の確認・要請（防災エキスパート等）

【警戒体制】
洪水予報（氾濫警戒情報）
○水防警報（指示）
○ホットライン

【非常体制】
洪水予報（氾濫危険情報）
○ホットライン
洪水予報（氾濫発生情報）
緊急復旧、堤防調査委員会設置
○被害状況の把握
（ヘリコプター等による迅速な状況把握）
○TEC-FORCEの活動
○被害状況・調査結果等の公表

さいたま市

○気象、水防等に関する情報収集・伝達
警戒レベル1「早期注意情報（警報級の可能性）」を気象庁が発表
○休校の判断、体制の確認等
○水防体制（水防担当者の準備体制）
警戒レベル2「洪水注意報、大雨注意報等」を気象庁が発表
○水防担当者を配置（施設復旧部）

風水害警戒本部設置の準備体制
○河川水位、雨量、降水短時間予報を確認
○ホットライン☎助言の要請（熊谷地方気象台）
○出水時点検【巡視】（施設復旧部）
○風水害警戒本部設置の検討

風水害警戒本部の設置
○漏水・浸食情報の提供
○ホットライン☎助言の要請（河川事務所）
○10分毎の河川水位、雨量、降水短時間予報を確認

災害対策本部の設置
○ホットライン☎河川事務所長から本部長（市長）へ受電
○ホットライン☎気象台から本部班へ受電
○避難所の選定と開設を検討
○避難を必要とする状況が夜間・早朝等の場合は、避難準備情報発令の検討・判断
○住民（要配慮者利用施設も含む）に対し、堤防の決壊等の状況を周知
○自衛隊の派遣要請（必要に応じて）
○支援要請（必要に応じて）

警戒レベル3
高齢者等避難
※氾濫２４時間後を目安に発令

警戒レベル4
避難指示
※氾濫２６時間後を目安に発令

警戒レベル5
緊急安全確保
※氾濫２８時間後を目安に発令

住民等

災害への心構えを高める
○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
○テレビ、ラジオ、インターネット・県メール等により大雨や河川の状況を確認
○テレ玉データ放送による情報確認

自らの避難行動を確認
○防災グッズの準備
○自宅保全

防災行政無線、メール、ホームページ、テレ玉データ、テレビ、Yahoo!防災速報アプリ等により避難情報を受信

要配慮者は避難を開始
○避難の準備（要配慮者以外）

避難開始
【注】主に高所階への避難を呼びかけ

避難完了
マンション上階など高所への避難完了

最終的な危険回避行動

避難解除